

2024年6月5日 国土交通政策研究所 研究発表会

# ポストコロナにおける移動ニーズに対応した ビジネスジェット等の活用に関する調査研究

○主任研究官 可児 貴明  
前研究官 織田 直人  
前研究調整官 岩崎 幹平

# 1. 調査研究の背景・目的

## 【背景】

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による航空旅客需要の低下。  
→ 【課題】ポストコロナでの、**新たな航空旅客需要の創出**。
- **ビジネスジェット**等の活用を含めた海外からの**富裕層のシームレスな移動**の推進に着目。  
「観光立国推進基本計画」（2023年3月31日閣議決定）  
「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりに向けたアクションプラン」（2022年5月観光庁）

▽  
大都市の空港だけでなく、地方空港でのビジネスジェット等の利用促進、周辺地域サービス等の高付加価値化が必要。

▽  
空港周辺でのビジネスや観光コンテンツをつなぐ交通アクセス（**上質なサービス**）を含むビジネスジェット等を利用した地域振興事例の具体的検討ができていない。

## 【目的】

コロナ禍でも旅客需要の変動が比較的小さいビジネスジェット等の利用環境改善を図り、地域振興と地方空港の利用活性化の方策検討へ寄与する。

## 2. ビジネスジェット等の概要

### 【ビジネスジェットとは】

- 企業・団体、個人が商用目的で利用。
  - 運航形態：①社用機や個人所有機などの自家用運航、②事業用機のチャーターによる運航。
- 本調査では、観光目的（いわゆるプライベートジェット）を含め『**ビジネスジェット等**』と定義。

### 【利用目的】

- ① 時間節約（顧客都合で自由なスケジュール調整）。
- ② 自由な目的地選択（航空会社に影響されない）。
- ③ （その他）プライベート空間確保、安全性、快適性、感染リスクの抑制。

### 【利用者層】

（※利用者層や富裕層の分類等は巻末参考資料参照）

保有/チャーター	利用頻度	利用者層
保有	定常的	主に平均純資産額10億ドル以上の億万長者中心
チャーター	（短距離で）定常的／必要な際	超富裕層

※ 富裕層は、定常的な利用は少ない。直行便がなく大幅な時間短縮となるなどの利点が大いいと、利用することがある。



主に**時間節約**、**自由な目的地選択**など**シームレスな移動**を求め、**富裕層以上**が利用。

## 3.1 1年目の内容

- 本調査研究は2022～2023年度の2カ年で実施。
- 1年目は、**海外10地域**※1で、空港周辺地域のサービス等として、『**空港**』『**アシ**』『**ウリ**』『**ヤド**』『**ヒト**』『**コネ**』を調査。

項目	内容	具体例
『空港』	受入体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FBO※2の有無や提供サービス</li> <li>・ビジネスジェット等の利用状況</li> </ul>
『アシ』	空港からの二次交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港から目的地までの移動サービス（高級送迎車・ヘリコプター等）</li> </ul>
『ウリ』	滞在価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然・遺産</li> <li>・各種ツーリズム</li> </ul>
『ヤド』	宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高級ヴィラ※3、シャレー※4、ホテルスイート</li> </ul>
『ヒト』	人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド、コンシェルジュ</li> </ul>
『コネ』	売り込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光戦略、キャンペーン</li> </ul>

※1 ・アジア : バリ（インドネシア）、プーケット（タイ）  
 ・オセアニア : ニューージーランド  
 ・北中米 : アспен（アメリカ）、コスタリカ、ロスカボス（メキシコ）  
 ・南米 : パタゴニア（チリ・アルゼンチン）  
 ・欧州 : シチリア（イタリア）、サンモリッツ（スイス）、イビザ（スペイン）

※2 Fixed Base Operator 航空機とその運航業者などに運航に係る関連サービスを提供する事業者。

※3 1棟まるごと客室の別荘のような宿泊施設。

※4 山小屋タイプの宿泊施設の総称。

## 3.2 1年目の結果①

### 【海外での提供状況・ポイント】

『空港』

- ✓ ビジネスジェット等を受け入れるFBOが存在。
- ✓ 9割以上が同国・近隣国からの渡航。

『アシ』

- ✓ 高級送迎車やヘリコプターによる移動。
- ✓ 離島へのラグジュアリー・ヨットチャーター。

『ウリ』

- ✓ 「自然や遺産」「各種ツーリズム」「文化や生活スタイル」などのブランド力を発揮。
- ✓ サステナブルが重要。
- ✓ アクティビティ等の付加価値。

### 【日本での調査・検討課題】

- 国内・近隣国（アジア等）の動向を踏まえた受入体制の検討。

- シームレスな移動を可能とする**二次交通**は**富裕層に共通のニーズ**で、概況調査が最も必要。

- ブランド化の推進。
- サステナブルへの注力。
- ウリに加えヤド、アシ等を考慮した誘客検討。

## 3.2 1年目の結果②

### 【海外での提供状況・ポイント】

『ヤド』

- ✓ 高級ヴィラ・ホテルが一定数存在。
- ✓ ソフト面（専用シェフ、コンシェルジュ等）が充実。

『ヒト』

- ✓ ガイド・コンシェルジュ等の人材育成。
- ✓ 公的な資格認定によるステータス向上。
- ✓ 育成のための助成金制度。

『コネ』

- ✓ プロモーション、各種投資、観光戦略、ビザ発給。
- ✓ 国と地域、住民の協力。

### 【日本での調査・検討課題】

- ハード面・ソフト面を備えた宿泊施設の調査。
- 日本の宿泊施設が富裕層のニーズを満たすかも考慮する必要。

- ガイド・コンシェルジュ等の資格認定。
- 誘客に向けた人材育成や強化。

- 日本への適用可能性を考慮した施策の検討。

## 4.1 2年目の方針・内容

### 【1年目】

二次交通は富裕層に共通のニーズ



### 【2年目】

空港からの二次交通（『アシ』）を中心に調査。

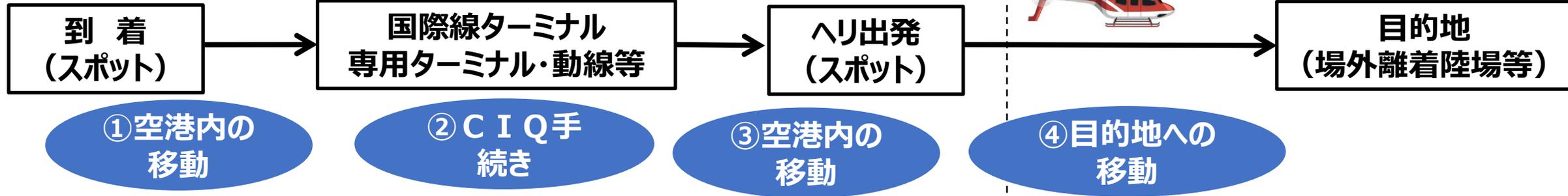
- ① ビジネスジェット等の利用者層が活用する『アシ』『空港』の調査。
  - ✓ ヘリコプター3事例・高級送迎車2事例（『アシ』）。
  - ✓ 上記5事例に関連する4空港（『空港』）。
- ② ビジネスジェット等の利用者層向けの『ウリ』『ヤド』『ヒト』『コネ』の調査。
  - ✓ ①の5事例、4空港に関連する4地域。

# 4.2 空港からの二次交通のイメージ【ヘリコプター】

**国際線**ビジネスジェット等  
到着の場合



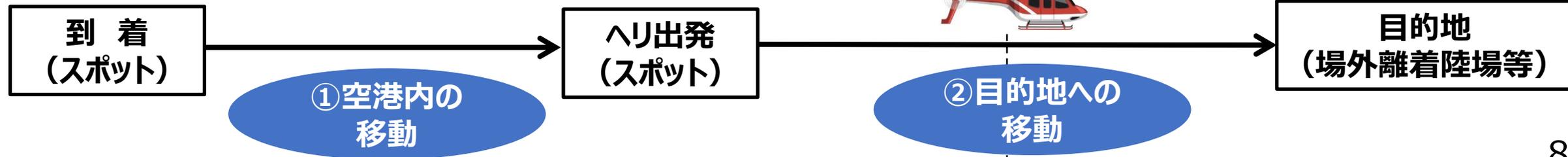
空港制限区域内



**国内線**ビジネスジェット等  
到着の場合



空港制限区域内

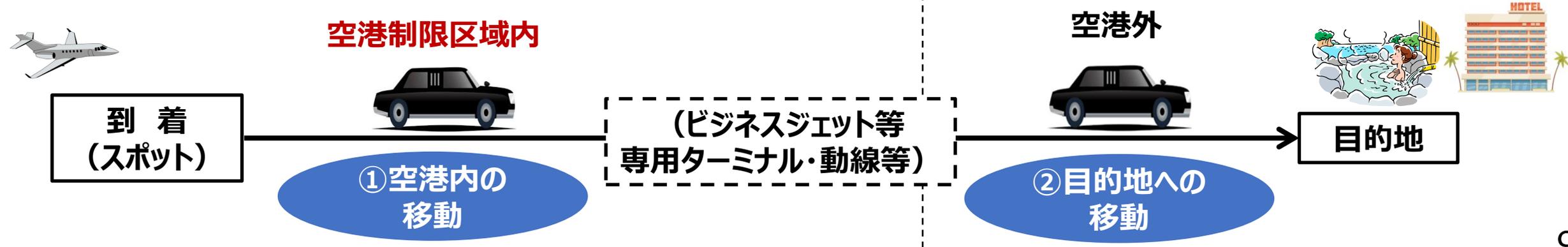


# 4.2 空港からの二次交通のイメージ【高級送迎車】

**国際線**ビジネスジェット等  
到着の場合



**国内線**ビジネスジェット等  
到着の場合



# 4.3 調査対象

事例 <ヒアリング調査先※>	二次交通の種類	空港	地域
<p><b>ルスツリゾート</b> (北海道)</p>	<p>ヘリコプター</p>	<p><b>新千歳空港</b></p>	<p><b>ニセコ、ルスツ</b> (北海道)</p>
<p>かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ Space Aviation (沖縄県)</p>	<p>ヘリコプター</p>	<p>那覇空港</p>	<p>沖縄 (沖縄県)</p>
<p>奥宿 無相荘 (大分県)</p>	<p>ヘリコプター</p>	<p>大分空港</p>	<p>由布院 (大分県)</p>
<p><b>株式会社minorhythm</b> (北海道)</p>	<p>高級送迎車</p>	<p>&lt;既出&gt; <b>新千歳空港</b></p>	<p>&lt;既出&gt; <b>ニセコ、ルスツ</b> (北海道)</p>
<p><b>天空の森</b> (鹿児島県)</p>	<p>高級送迎車 (ヘリコプター)</p>	<p><b>鹿児島空港</b></p>	<p><b>霧島</b> (鹿児島県)</p>

※文献・インターネット調査で抽出した事例候補に電話ヒアリング等を実施し、利用実績等を踏まえ選定。

# 5.1 ヘリコプター【ルスツリゾート①】

## ルスツリゾートの概要

- 北海道留寿都村にあるリゾート施設で、総面積約820ha、スキー場、ゴルフ場、遊園地、宿泊施設等がある。
- イギリスの国際的スキー専門誌の「2008年世界のベストリゾート20ヶ所」に選出されるなど、世界のスキーヤーに有名な地。

### 項目

### 現地・ヒアリング調査（2023年11月実施）の結果概要

サービス内容

- ・新千歳空港、丘珠空港をはじめとした**空港等からのヘリコプター送迎**。
- ・ヘリによるスカイダイビング、ヘリスキー、ヘリコプター遊覧等の提供。  
（※2023年11月時点では、運航及び予約受付は一時中止中。）

所要時間・価格

・ルスツリゾートヘリポート～新千歳空港 片道約25分、30万円  
（ヘリスキー：10万円）

等

運航主体等

- ・運航主体・機材保有は、ルスツリゾート。
- ・運航・整備は、運航会社に委託。

利用実績

- ・海外からのビジネスジェット等に接続しての利用実績はなし。
- ・**国内からのビジネスジェット**等に接続して、**新千歳空港からの利用実績**。
- ・**年間多くて10～15件程度**、夏・春休みに日本人客(4～5名の家族)利用が多い。
- ・2019年に本機体にて送迎サービス開始以降、1回の最大利用者は13名で、新千歳空港～ルスツを3往復。



ルスツリゾート保有  
EC-130（定員6名）

## 5.1 ヘリコプター【ルスツリゾート②】

## 項目 現地・ヒアリング調査（2023年11月実施）の結果概要（続き）

天候条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>冬季は</b>オンシーズンでニーズは高いものの、視程が悪く、<b>就航率は10%以下</b>。</li> <li>・飛べなかった場合の代替措置は、陸路移動で、タクシー会社に依頼。</li> </ul>
事業状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定費（施設、ヘリ購入費）はカバーできていない。現在の利用状況では<b>黒字は難しい</b>。</li> <li>・冬季のヘリスキーはそれなりに利益をもたらしている。</li> </ul>
空港・ヘリポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各空港において、適宜、運航の都度、スポットを調整し利用。</li> <li>・宿泊施設より車で5分程度の場所に、ヘリポート（場外離着陸場）と格納庫を設置。</li> <li>・ホテル等の近くの駐車場・空き地も場外離着陸場として申請済。直近の場所に着陸してお客様を降ろすようにしている。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>天候と稼働率</b>、冬季はよりニーズが高まるが稼働率が低い。今後夏場、力を入れていきたい。</li> <li>・丘珠空港のスポット数を増やして欲しい。調整が難しかったことがあった。</li> <li>・新千歳空港～ルスツ以外でもニーズがあればどこでも飛べるので、その<b>プロモーション等が必要</b>。</li> </ul>



ヘリコプター格納庫

## 5.1 高級送迎車【株式会社minorhythm】

### 株式会社minorhythmの概要

- 一般旅客自動車運送事業の許可を受け、千歳市に拠点。
- ビジネスジェット等の機側から目的地までの移動をはじめとした、**高級送迎車による送迎サービス等を提供。**

項目	現地・ヒアリング調査（2023年11月実施）の結果概要
目的地・価格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新千歳空港～ニセコ地区：片道51,000円</li> <li>・1日の貸切料金：88,000円（8時間）（2023年12月時点）</li> </ul>
車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイエース、ヴェルファイア 計5台</li> </ul>
利用実績・特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じての利用状況は、冬を100とすると、夏70、春40、秋20～30程度。</li> <li>・冬は、新千歳空港～ニセコ地区の送迎・周辺の周遊が9割。春・夏は富良野等の周遊が多い。</li> <li>・98%が海外客であり、フィリピン、マレーシアが多い。</li> <li>・ビジネスジェット等にて来訪する方の送迎は、国内外併せ<b>年間約50件</b>、時間帯は14～16時位が多い印象。</li> </ul>
事業状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客獲得は順調で、利益は出ている。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>人手不足</b>、体制不足で対応できないものもある。繁忙期と閑散期の幅が大きい。</li> <li>・業務に対応できる<b>ドライバー不足</b>。ドライバーに求められる要件があり、すぐに人材育成できるわけではない。</li> </ul>

# 5.1 高級送迎車・ヘリコプター【天空の森】

## 天空の森の概要

- 鹿児島県霧島市に位置し、東京ドーム約13個分の敷地に、プライベートリゾートとして温泉付きヴィラが5棟点在。
- 鹿児島空港からは車で15分、約12kmの位置にある。

## 項目 現地・ヒアリング調査（2023年12月実施）の結果概要

高級送迎車	サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には鹿児島空港、隼人駅等から天空の森まで、無料で送迎。（その他お客様の外出や送迎希望に対し、地元のハイヤー業者を手配することがある。）</li> </ul>
	車両等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天空の森所有アルファード1台（ハイヤー業者に手配し、合計2台で対応することもある。）</li> </ul>
課題等	利用実績・特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>海外からのビジネスジェット</b>等来訪者を<b>ビジネスジェット専用ターミナル玄関で迎えた</b>実績。</li> <li>・国内からのビジネスジェット等来訪者をビジネスジェット等機側で待機した送迎車で送迎した実績。</li> </ul>
	ヘリコプター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設の敷地内にヘリポート2カ所（舗装や塗装などはなし）。</li> <li>・お客様からリクエストがあれば運航事業者に運航を依頼。</li> <li>・<b>福岡（奈多ヘリポート）からヘリコプター</b>で来られた実績がある。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイヤー：お客様から<b>大型車の要望</b>があるが<b>鹿児島では手配できない</b>状況。</li> <li>・ヘリコプター：一般の方が利用できる<b>ヘリコプターの機体が鹿児島にない</b>。必要な場合は他県より準備する必要があり、手配価格も高騰（手配を断念することが多い。）。</li> <li>・空港のCIQ関連施設等の使い勝手。</li> </ul>



ヘリポート

## 5.2 空港【新千歳空港】

項目	北海道エアポート（株）への現地・ヒアリング調査（2023年11月実施）の結果概要
専用施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年12月、ビジネスジェット専用ターミナル「Hokkaido Business Aviation Center (HBAC)」開業。</li> <li>・「HBAC」運営事業者の手配サービスとして、ケータリング、車両送迎等あり。</li> <li>・施設開業前、手続きに最大2時間程度（繁忙時）かかることもあったところ、最短約10分程度等の<b>大幅な時間短縮が可能になる</b>と考えている。</li> </ul>
利用可能時間・料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間</li> <li>・外航機:50万円～、内航機:15万円 （※「HBAC施設利用」に伴う基本料金(着陸料等は別途)、期間・時期・機材により変動。）</li> </ul>
CIQ・保安検査場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「HBAC」内に<b>専用CIQ施設・保安検査場</b>あり。 （※ 専用CIQ施設：税関、出入国管理、検疫、動物検疫、植物防疫）</li> <li>・事前の手配によりスムーズなCIQ手続き対応が可能。</li> </ul>
施設等利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年12月～2月の期間の利用実績250便超。</li> <li>・<b>ほとんどが国際線</b>で、国内線はほぼない。<span style="float: right;">（※後日問合せ）</span></li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な<b>人材不足</b>。空港全体の職員数はコロナ前9,000人、ヒアリング時点で8,500人程度。</li> <li>・格納庫等のビジネスジェット等到着後の<b>保管場所、これらに関する人材確保、投資環境</b>。</li> </ul>

## 5.2 空港【鹿児島空港】

項目	鹿児島空港ビルディング（株）への現地・ヒアリング調査（2023年12月実施）の結果概要
専用施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年10月に九州で初のビジネスジェット専用施設「桜島」を開設。</li> <li>・一般旅客との接触なく、到着・出発ともに<b>スピーディーな手続き</b>が可能。</li> </ul>
利用可能時間・料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7時～22時</li> <li>・出発、到着それぞれ1回あたり国内線10万円、国際線20万円</li> </ul>
CIQ・保安検査場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「桜島」内に<b>専用CIQ施設・保安検査場</b>あり。 （※専用CIQ施設：税関、出入国管理、検疫、動物検疫、植物防疫）</li> <li>・CIQ職員の速やかな移動を最優先に、国際線ターミナル横に「桜島」を設置。</li> <li>・事前の手配によりスムーズなCIQ手続き対応が可能。</li> </ul>
施設等利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・供用開始以降、過去数回の利用実績。 （ビジネスジェット等の主な利用スポットは、施設から少し距離がある。施設近接のスポットは、国際線定期便が駐機していない場合、駐機可能。）</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際線の再開・新規就航が増加していく中、国際線ビジネスジェット等の<b>受入体制</b>。</li> <li>・本施設のプロモーションのみならず、富裕層向けパッケージでの<b>プロモーションが必要</b>。</li> </ul>

## 5.3 地域【ニセコ、ルスツ(北海道)】



### 地域概要

- 国内屈指のスキーリゾートエリア、海外からスキーヤーやスノーボーダーが数多く来訪。
- 夏季はゴルフやヘリコプター遊覧、登山、ハイキングなどのアウトドアアクティビティでの来訪者が多い。
- ニセコ：新千歳空港、札幌から約100km、車で約2時間
- ルスツ：新千歳空港から約90km、車で約90分、札幌から約75km、車で約90分

※地図の出典：北海道後志総合振興局HP <https://www.shiribeshi.pref.hokkaido.lg.jp/gyosei/machi/index.html>

### 『ウリ』

### 『ヤド』

### 『ヒト』

### 『コネ』

概要	『ウリ』	『ヤド』	『ヒト』	『コネ』
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スノーツーリズム</li> <li>・温泉・スパ・ウェルネス</li> <li>・フードツーリズム</li> <li>・オフシーズンの各種ツーリズム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高級ホテル</li> <li>・長期滞在に対応した宿泊施設、ウェルネス体験</li> <li>・高級不動産（コンドミニアム投資）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保「タイミー」の活用</li> <li>・タクシー運転手不足対応（「ニセコモデル」）</li> <li>・高校の観光人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光圏整備計画の作成と数値目標の設定</li> <li>・MICEの誘致</li> <li>・オーバーツーリズム対応</li> </ul>

### 課題等（関係事業者等へのヒアリング調査の結果）

- 『ヒト』：従業員の退職。2～3年でスキルを得て**早期退職**するパターンがある。
- 『ヒト』：**オフシーズンにも雇用を維持できるような取組。**
- 『コネ』：**海外富裕層とのネットワーク、関係構築。**

## 5.3 地域【霧島(鹿児島県)】



### 地域概要

- 鹿児島県は、南北約600キロメートルに及ぶ広大な地域。自然、景観、温泉、歴史・文化、伝統工芸など多様な資源や美味しい食の魅力がある。
- 霧島は、霧島連山の雄大な自然があり、2010年に日本ジオパークに加盟。
- 霧島は、鹿児島空港から約30km、車で約30分、鹿児島市内から約60km、車で約60～90分。

※地図の出典：かごしまグリーン・ツーリズム協議会HP <https://kagoshima-gt.net/stay/kirishima>

項目	『ウリ』	『ヤド』	『ヒト』	『コネ』
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉、ウエルネス</li> <li>・豊かな自然、歴史、文化</li> <li>・豊富な食材</li> </ul>	<p>&lt;霧島温泉郷&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大小9つの温泉</li> <li>・標高600mから850mの間に位置</li> <li>・さまざまな泉質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくり人材養成講座の実施</li> <li>・鹿児島県観光振興基本方針の制定による人材育成の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県観光振興基本方針の制定</li> <li>・MICE（国際会議等）の誘致</li> </ul>

### 課題等（関係事業者等へのヒアリング調査の結果）

- 『ヒト』：多言語対応の**ガイド不足**。
- 『ヒト』：**コンシェルジュ不足**
- 『コネ』：コンテンツの工夫
- 『コネ』：選択のパターン作成の促進。

## 6. まとめ 『アシ』『空港』

## サービス

## 課題・ポイント

『アシ』  
ヘリコプター

- ・**天候**（例えば、北海道では冬季の需要は高いが、就航率は悪くなる傾向）。
- ・目的地周辺へのヘリポート（場外離着陸場）等の設定が難しい場合がある。
- ・**積載量・積載スペース**が限られる（荷物輸送の別手配が必要な場合あり）。
- ・空港からの二次交通のみで**収益**を得ることは難しい場合がある。

『アシ』  
高級送迎車

- ・ビジネスジェット等の利用者層に対応できる**ドライバーの育成**。
- ・富裕層のニーズに対応できる**車両の不足**。
- ・空港場内の車両許可、手配、手続きのノウハウ。

## 『空港』

- ・格納庫等のビジネスジェット等到着後の**保管場所**。
- ・グランドハンドリング**人材の不足、確保**。
- ・ビジネスジェット等専用施設の利便性。

## 6. まとめ 『ウリ』『ヤド』『ヒト』『コネ』

サービス	課題・ポイント
『ウリ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域が有する自然（山・森・川・海）と歴史文化。</li> <li>② 魅力拡大のためのツーリズム（スノー、グリーン、アドベンチャー等）。</li> <li>③ 地産地消の食材、特産料理。</li> </ul>
『ヤド』	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 高級感を満喫できる宿泊施設。</li> <li>② 富裕層向け宿泊施設等の不動産の醸成。</li> </ul>
『ヒト』	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 宿泊、サービス関連の人材。</li> <li>② コンシェルジュやバトラーといった<b>ハイレベル人材</b>。</li> <li>③ 地域観光を推進する人材。</li> </ul>
『コネ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 国や地域等の観光戦略、施策。</li> <li>② 誘客のための<b>プロモーション</b>。</li> <li>③ 広域自治体、観光地域づくり法人、事業者等の<b>連携</b>。</li> </ul>

# 参考資料(ビジネスジェット等の利用者層について)

## ■ 富裕層の分類例 (※World Ultra Wealth Report 2022より作成。)

分類	個人資産額	世界推定人数
BILLIONAIRES 億万長者	10億ドル以上	3,000人以上
UHNW (ULTRA HIGH NET WORTH) 超富裕層	3,000万ドル～10億ドル	392,410人
VHNW (VERY HIGH NET WORTH) 富裕層	500万ドル～3000万ドル	361万人

## ■ ビジネスジェット機保有者等の分類例 (※THE JET TRAVELER REPORTより作成。)

分類	利用方法	利用者層等
ビジネスジェット機保有者	保有 (いつでも利用可。)	主に平均純資産額15億ドルのBillionaires
プライベートフライト・プログラムメンバー	メンバーは利用したい時に固定料金で、サービスを受けられるプログラム。	メンバーの平均純資産額は11.7億ドルで主にBillionaires
その他	チャーター会社等を通じて、必要な時にチャーター。	主にUHNW

## ■ UHNWとVHNWの各分類における旅行者の傾向 (※DEFINING THE GLOBAL LUXURY TRAVEL ECOSYSTEM (2019)より作成)

分類	UHNW	VHNW
平均旅行費用	60,000ドル	18,000ドル
主な旅行手配方法	Specialist (個人専属スタッフ等)	Concierge (専門手配事業者等)
主な旅行目的	Getaway (休暇)	Impress (感動的な体験等)
主な宿泊利用施設	高級ヴィラ	高級ホテルジュニアスイート
航空移動 (短距離/長距離)	プライベートジェット/ファーストクラス	ビジネスクラス/ファーストクラス

※「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりに向けたアクションプラン」(令和4年5月観光庁)

高付加価値旅行者：訪日旅行1回当たりの総消費額100万円以上/人の旅行者